

学校コード F138110110382

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

**事前相談**

注2

愛媛大学大学院 理工学研究科 理工学専攻（博士後期課程）

## 【事前相談】 設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

国立大学法人愛媛大学  
令和5年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名	総務部評価IR課
職名・氏名	評価IR課長 織田 隆司
電話番号	089-927-9012
（夜間）	089-927-9012
e-mail	hyouka@stu.ehime-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

理工学研究科

<理工学専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	12
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	31

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人愛媛大学

## (2) 大学名

愛媛大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒790-8577  
愛媛県松山市文京町3番  
(〒790-8577  
愛媛県松山市道後樋又10番13号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ニシナ ヒロシゲ) 仁科 弘重 (令和3年4月)		
理事	(ヤヒロ ヒデノリ) 八尋 秀典 (令和3年4月)		
研究科長	(タカハシ リョウジ) 高橋 亮治 (令和5年4月)		
専攻長	(マツウラ マサヤ) 松浦 真也 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
理工学研究科 理工学専攻 博士(理学) 博士(工学) 博士(数理情報学)	理学関係 工学関係	3 年	23 人	2年次 0 3年次 0 4年次 - 人	69 人	-	(基礎となる学部等) 理学部 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	23人				
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	17 [6]				
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	16 [6]	0.69倍	一倍	0.69倍	一倍
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	16 [6]				
B 入学者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	16 [6]				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.69				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、( )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	0	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 6 ]	[ 0 ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	0	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 6 ]	[ 0 ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、留年者の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	16人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)  
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。  
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。  
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<大学院理工学研究科理工学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻共通科目	ファンダメンタル・アカデミックスキル	1	1			1						
	アドバンスド・アカデミックスキル	1・2・3	1			1						
	キャリアパス・ディベロップメント	1・2・3	1			1						
	学外高等特別演習	1・2・3	1			2						
	学外高等特別研修	1・2・3	1			2						
	国際交流研究	1・2・3	1			2						
	リサーチ・インターンシップ	1・2・3	1			1						
小計(7科目)	—	0	7	0	6	0	0	0	0	0	0	
科専目門	博士特別研究	1~3	9			72	62					
	小計(1科目)	—	9	0	0	72	62	0	0	0	0	0
合計(8科目)		—	9	7	0	72	62	0	0	0	0	0

卒業要件及び履修方法

1. 専門科目必修9単位、理工学研究科共通科目3単位以上、合計12単位以上を修得していること。  
2. 学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻共通科目	ファンダメンタル・アカデミックスキル	1	1			1						
	アドバンスド・アカデミックスキル	1・2・3	1			1						
	キャリアパス・ディベロップメント	1・2・3	1			1						
	学外高等特別演習	1・2・3	1			2						
	学外高等特別研修	1・2・3	1			2						
	国際交流研究	1・2・3	1			2						
	リサーチ・インターンシップ	1・2・3	1			1						
小計(7科目)	—	0	7	0	6	0	0	0	0	0	0	
科専目門	博士特別研究	1~3	9			79	58	3				
	小計(1科目)	—	9	0	0	79	58	3	0	0	0	0
合計(8科目)		—	9	7	0	79	58	3	0	0	0	0

卒業要件及び履修方法

1. 専門科目必修9単位、理工学研究科共通科目3単位以上、合計12単位以上を修得していること。  
2. 学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学院等の場合、「実験・実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ② 授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

退職、昇任、教育課程の充実の理由により、「博士特別研究」の専任教員等の配置を「教授」を72から79、「准教授」を62から58、「講師」を0から3へ変更

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を黒字書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
1 科目	7 科目	0 科目	8 科目	1 科目 [ 0 ]	7 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	8 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。



### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	321,266 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	321,266 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	79,745 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	79,745 m <sup>2</sup>			
	小 計	401,011 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	401,011 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	4,257,149 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	4,257,149 m <sup>2</sup>			
	合 計	4,658,160 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	4,658,160 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎	専 用	220,539 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	220,539 m <sup>2</sup>			
	(220,539 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	(220,539 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 施設整備によるもの (5)		
	145 132室	89 93室	561 558室	31 32室 (補助職員 0人)	7 9室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の退職等のため(5)		
	理工学研究科理工学専攻(博士後期課程)		187 188 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用部分を含む 施設整備によるもの (5)
	理工学研究科 理工学専攻(博士後期課程)	1,127,466 [322,765] (1,128,057 +127,466 [321,839 322,765])	23,707 [7,781] (23,557 23,707 [7,596 7,784])	4,029 [2,415] (3,870 4,029 [2,216 2,415])	6,978 (7,035 6,978)	12,269 (12,414 12,269)	(1)	
	計	1,127,466 [322,765] (1,128,057 +127,466 [321,839 322,765])	23,707 [7,781] (23,557 23,707 [7,596 7,784])	4,029 [2,415] (3,870 4,029 [2,216 2,415])	6,978 (7,035 6,978)	12,269 (12,414 12,269)	(1)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 施設整備によるもの (5)	
	10,615 m <sup>2</sup>		979 989		782,556 784,833			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体
	10,486 m <sup>2</sup>		武道場1、弓道場1、テニスコート22面、水泳プール4基					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	千円
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	千円
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	愛媛大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
法学部	4	365	3年次30	1520	-	1.03	-	1.07	1.03	-	昭和43	-						
人文社会学科 昼間主コース	4	275	3年次10	1120	学士 (法学・政治学、学術、人文学)	1.02	-	1.05	1.02	-	平成28	愛媛県松山市文京町3番						
人文社会学科 夜間主コース	4	90	3年次20	400	学士 (法学・政治学、人文学)	1.05	-	1.11	1.05	-	平成28	同上						
教育学部	4	160	-	640	-	1.02	-	1.06	1.05	-	昭和24	-						
学校教育教員養成課程	4	160	-	640	学士 (教育学)	1.02	-	1.06	1.05	-	平成11	愛媛県松山市文京町3番	令和2年度から入学定員増(20)					
社会共創学部	4	180	-	720	-	1.03	-	1.05	1.03	-	平成28	-						
産業マネジメント学科	4	70	-	280	学士 (社会共創学)	1.02	-	1.06	1.02	-	平成28	愛媛県松山市文京町3番						
産業イノベーション学科	4	25	-	100	学士 (社会共創学)	1.03	-	1.03	1.02	-	平成28	同上						
環境デザイン学科	4	35	-	140	学士 (社会共創学)	1.03	-	1.05	1.03	-	平成28	同上						
地域資源マネジメント学科	4	50	-	200	学士 (社会共創学)	1.04	-	1.05	1.04	-	平成28	同上						
理学部	4	225	-	900	-	1.05	1.05	1.12	1.06	-	昭和43	-						
理学科	4	225	-	900	学士 (理学)	1.05	1.05	1.09	1.04	-	平成31	愛媛県松山市文京町2番5号						
医学部	-	170	2年次5 3年次10	945	-	-	-	-	-	-	昭和48	-						
医学科	6	110	2年次5	685	学士 (医学)	1.00	-	1.01	1.00	令和5	昭和48	愛媛県東温市志津川454	令和5年度入学定員増(15)					
看護学科	4	60	3年次10	260	学士 (看護学)	1.00	-	0.96	-	-	平成6	同上						
工学部	4	500	3年次10	2020	-	1.01	-	1.05	1.01	-	昭和24	-						
工学科	4	500	3年次10	2020	学士 (工学)	1.01	-	1.03	1.01	-	平成31	愛媛県松山市文京町3番						
農学部	4	170	3年次10	700	-	1.05	-	1.09	1.06	-	昭和29	-						
食料生産学科	4	70	3年次5	290	学士 (農学)	1.06	-	1.11	1.07	-	平成28	愛媛県松山市榑味3丁目5番7号						
生命機能学科	4	45	3年次2	184	学士 (農学)	1.04	-	1.05	1.02	-	平成28	同上						
生物環境学科	4	55	3年次3	226	学士 (農学)	1.03	-	1.08	1.07	-	平成28	同上						
大学全体	-	1770	2年次5 3年次60	7445	-	-	-	-	-	-	-	-						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。  
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院理工学研究科理工学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (研究科長)	高橋 寛 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	黄木 景二 <令和5年4月> 博士(工学)
		学外高等特別演習 学外高等特別研修 国際交流研究 博士特別研究
専	教授	柴田 諭 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	高橋 学 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	田中 進 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	豊田 洋通 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	中原 真也 <令和5年4月> 博士(工学)
		リサーチ・インターンシップ 博士特別研究
専	教授	野村 信福 <令和5年4月> 工学博士
		博士特別研究
専	教授	保田 和則 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	山本 智規 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	岡本 好弘 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	青野 宏通 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高橋 寛 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	黄木 景二 <令和5年4月> 博士(工学)
		学外高等特別演習 学外高等特別研修 国際交流研究 博士特別研究
専	教授	柴田 諭 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	高橋 学 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	田中 進 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	豊田 洋通 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	中原 真也 <令和5年4月> 博士(工学)
		リサーチ・インターンシップ 博士特別研究
専	教授	野村 信福 <令和5年4月> 工学博士
		博士特別研究
専	教授	保田 和則 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	山本 智規 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	岡本 好弘 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	青野 宏通 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	板垣 吉晃 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	井堀 春生 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	小林 千悟 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	齋藤 全 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	武部 博倫 <令和5年4月> 工学博士
		博士特別研究
専	教授	藪谷 智規 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	朝日 剛 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	井原 栄治 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	澤崎 達也 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	高井 和幸 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	林 実 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	松口 正信 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	御崎 洋二 <令和5年4月> 工学博士
		博士特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	板垣 吉晃 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	井堀 春生 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	小林 千悟 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	齋藤 全 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	武部 博倫 <令和5年4月> 工学博士
		博士特別研究
専	教授	藪谷 智規 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	朝日 剛 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	井原 栄治 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	澤崎 達也 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	高井 和幸 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	林 実 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	松口 正信 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	御崎 洋二 <令和5年4月> 工学博士
		博士特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	八尋 秀典 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	岡村 未対 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	中畑 和之 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	Netra Prakash Bhandary <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	日向 博文 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	松村 暢彦 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	森脇 亮 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	安原 英明 <令和5年4月> P h. D. (米国)
		博士特別研究
専	教授	吉井 稔雄 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	渡邊 幸三 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	門脇 一則 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	神野 雅文 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	都築 伸二 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	八尋 秀典 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	岡村 未対 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	中畑 和之 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	Netra Prakash Bhandary <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	日向 博文 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	松村 暢彦 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	森脇 亮 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	
専	教授	吉井 稔雄 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	渡邊 幸三 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	門脇 一則 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	神野 雅文 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	都築 伸二 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	川原 稔 <令和5年4月> 博士(情報学)
		博士特別研究
専	教授	小林 真也 <令和5年4月> 工学博士
		博士特別研究
専	教授	二宮 崇 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	野口 一人 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	樋上 喜信 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	尾國 新一 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	SHAKHMATOV DMITRI BORISOVICH <令和5年4月> Ph. D. (ロシア)
		博士特別研究
専	教授	平野 幹 <令和5年4月> 博士(数理学)
		博士特別研究
専	教授	松浦 真也 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	山内 貴光 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	山崎 義徳 <令和5年4月> 博士(数理学)
		博士特別研究
専	教授	本田 理恵 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	粟木 久光 <令和5年4月> 理学博士
		博士特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	川原 稔 <令和5年4月> 博士(情報学)
		博士特別研究
専	教授	小林 真也 <令和5年4月> 工学博士
		博士特別研究
専	教授	二宮 崇 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	野口 一人 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	樋上 喜信 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	尾國 新一 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	SHAKHMATOV DMITRI BORISOVICH <令和5年4月> Ph. D. (ロシア)
		博士特別研究
専	教授	平野 幹 <令和5年4月> 博士(数理学)
		博士特別研究
専	教授	松浦 真也 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	山内 貴光 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	山崎 義徳 <令和5年4月> 博士(数理学)
		博士特別研究
専	教授	本田 理恵 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	粟木 久光 <令和5年4月> 理学博士
		博士特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	寺島 雄一 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	淵崎 員弘 <令和5年4月> 工学博士
		博士特別研究
専	教授	前原 常弘 <令和5年4月> 博士(理学)
		キャリアパス・ディベロップメント 博士特別研究
専	教授	長尾 透 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	鐺本 武久 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	堀(榑原) 利栄 <令和5年4月> 理学博士
		博士特別研究
専	教授	郭 新宇 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	亀山 真典 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	土屋 卓久 <令和5年4月> 博士(理学)
		ファンダメンタル・アカデミックスキル 博士特別研究
専	教授	西原 遊 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	森本 昭彦 <令和5年4月> 博士(理学)
		アドバンスド・アカデミックスキル 博士特別研究
専	教授	村上 恭通 <令和5年4月> 博士(文学)
		博士特別研究
専	教授	小原 敬士 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	寺島 雄一 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	淵崎 員弘 <令和5年4月> 工学博士
		博士特別研究
専	教授	前原 常弘 <令和5年4月> 博士(理学)
		キャリアパス・ディベロップメント 博士特別研究
専	教授	長尾 透 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	鐺本 武久 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	堀(榑原) 利栄 <令和5年4月> 理学博士
		博士特別研究
専	教授	郭 新宇 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	亀山 真典 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	土屋 卓久 <令和5年4月> 博士(理学)
		ファンダメンタル・アカデミックスキル 博士特別研究
専	教授	西原 遊 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	森本 昭彦 <令和5年4月> 博士(理学)
		アドバンスド・アカデミックスキル 博士特別研究
専	教授	村上 恭通 <令和5年4月> 博士(文学)
		博士特別研究
専	教授	小原 敬士 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	座古 保 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	高橋 亮治 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	内藤 俊雄 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	国末 達也 <令和5年4月> 博士(農学)
		博士特別研究
専	教授	井上 幹生 <令和5年4月> 博士(農学)
		学外高等特別演習 学外高等特別研修 国際交流研究 博士特別研究
専	教授	佐藤 康 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	村上 安則 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	岩田 久人 <令和5年4月> 博士(学術)
		博士特別研究
専	准教授	李 在勲 <令和5年4月> 博士(工学)(韓国)
		博士特別研究
専	准教授	岩本 幸治 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	玉男木 隆之 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	朱(橘) 霞(実歩) <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	松浦 一雄 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	座古 保 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授 (研究科長)	高橋 亮治 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	内藤 俊雄 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	国末 達也 <令和5年4月> 博士(農学)
		博士特別研究
専	教授	井上 幹生 <令和5年4月> 博士(農学)
		学外高等特別演習 学外高等特別研修 国際交流研究 博士特別研究
専	教授	佐藤 康 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	村上 安則 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	岩田 久人 <令和5年4月> 博士(学術)
		博士特別研究
専	教授	李 在勲 <令和5年4月> 博士(工学)(韓国)
		博士特別研究
専	准教授	岩本 幸治 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	玉男木 隆之 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	朱(橘) 霞(実歩) <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	松浦 一雄 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松下 正史 ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	向笠 忍 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	佐々木 秀顕 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	松本 圭介 ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	水口 隆 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	山室 佐益 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	下元 浩晃 ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	高島 英造 ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		博士特別研究
専	准教授	竹田 浩之 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		博士特別研究
専	准教授	白旗 崇 ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	山口 修平 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	山下 浩 ＜令和5年4月＞ 工学博士
		博士特別研究
専	准教授	片岡 智哉 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		博士特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松下 正史 ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	向笠 忍 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	佐々木 秀顕 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	松本 圭介 ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	水口 隆 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	山室 佐益 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	下元 浩晃 ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	高島 英造 ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		博士特別研究
専	准教授	竹田 浩之 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		博士特別研究
専	准教授	白旗 崇 ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	山口 修平 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	山下 浩 ＜令和5年4月＞ 工学博士
		博士特別研究
専	准教授	片岡 智哉 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		博士特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	門田 章宏 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	河合 慶有 <令和5年4月> P h . D . (シンガポール)
		博士特別研究
専	准教授	木下 尚樹 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	倉内 慎也 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	羽鳥 剛史 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	二神 透 <令和5年4月> 学術博士
		博士特別研究
専	准教授	三宅 洋 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	池田 善久 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	井上 友喜 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	尾崎 良太郎 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	寺迫 智昭 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	仲村 泰明 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	本村 英樹 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	河合 慶有 <令和5年4月> P h . D . (シンガポール)
		博士特別研究
専	准教授	木下 尚樹 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	倉内 慎也 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	羽鳥 剛史 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	二神 透 <令和5年4月> 学術博士
		博士特別研究
専	教授	三宅 洋 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	池田 善久 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	井上 友喜 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	教授	尾崎 良太郎 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	寺迫 智昭 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	仲村 泰明 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	本村 英樹 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	阿萬 裕久 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	安藤 和典 <令和5年4月> 博士(数学)
		博士特別研究
専	准教授	宇戸 寿幸 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	遠藤 慶一 <令和5年4月> 博士(情報学)
		博士特別研究
専	准教授	岡野 大 <令和5年4月> 博士(情報理工学)
		博士特別研究
専	准教授	甲斐 博 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	黒田 久泰 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	森岡 悠 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	石川 勲 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	鍛冶澤 賢 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	中村 正明 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	清水 徹 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	松岡 良樹 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	阿萬 裕久 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	教授	安藤 和典 <令和5年4月> 博士(数学)
		博士特別研究
専	准教授	宇戸 寿幸 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	遠藤 慶一 <令和5年4月> 博士(情報学)
		博士特別研究
専	准教授	岡野 大 <令和5年4月> 博士(情報理工学)
		博士特別研究
専	准教授	甲斐 博 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	黒田 久泰 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	森岡 悠 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	石川 勲 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	鍛冶澤 賢 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	中村 正明 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	清水 徹 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	松岡 良樹 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	楠橋 直 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	齊藤 哲 <令和5年4月> 博士(環境学)
		博士特別研究
専	准教授	加 三千宣 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	河野 義生 <令和5年4月> 博士(学術)
		博士特別研究
専	准教授	境 毅 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	土屋 旬 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	奥島 鉄雄 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	島崎 洋次 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	高瀬 雅祥 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	山本 貴 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	小川 敦司 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	倉本 誠 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	杉浦(日浅) 美羽 <令和5年4月> 博士(農学)
		博士特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	楠橋 直 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	齊藤 哲 <令和5年4月> 博士(環境学)
		博士特別研究
専	准教授	加 三千宣 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	河野 義生 <令和5年4月> 博士(学術)
		博士特別研究
専	准教授	境 毅 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	土屋 旬 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	奥島 鉄雄 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	島崎 洋次 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	高瀬 雅祥 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	山本 貴 <令和5年4月> 博士(理学)
		博士特別研究
専	准教授	小川 敦司 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	倉本 誠 <令和5年4月> 博士(工学)
		博士特別研究
専	准教授	杉浦(日浅) 美羽 <令和5年4月> 博士(農学)
		博士特別研究







(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・令和5年3月、安原 英明教授辞任
- ・昇任のため、李 在勲准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更
- ・昇任のため、朱（橋） 霞（実歩）准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更
- ・昇任のため、松下 正史准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更
- ・令和5年1月、門田 章宏准教授辞任
- ・昇任のため、三宅 洋准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更
- ・昇任のため、尾崎 良太郎准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更
- ・昇任のため、寺迫 智昭准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更
- ・昇任のため、安藤 和典准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更
- ・昇任のため、畑 啓生准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更
- ・教育課程充実のため、川本 昌紀准教授を「博士特別研究」の担当教員に追加。
- ・教育課程充実のため、坪田 隆宏准教授を「博士特別研究」の担当教員に追加。
- ・教育課程充実のため、西川 まどか准教授を「博士特別研究」の担当教員に追加。
- ・教育課程充実のため、野澤 彰紀准教授を「博士特別研究」の担当教員に追加。
- ・教育課程充実のため、穆 盛林准教授を「博士特別研究」の担当教員に追加。
- ・教育課程充実のため、志達（高木） めぐみ講師を「博士特別研究」の担当教員に追加。
- ・教育課程充実のため、垣内 拓大講師を「博士特別研究」の担当教員に追加。
- ・教育課程充実のため、福井 眞生子講師を「博士特別研究」の担当教員に追加。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
8	6	0
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
72	62	0	0	134	0	79	58	3	0	140	0
(79)	(58)	(3)	(0)	(140)	0						
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数						うち教授数					
113	71	21	0			115	78	25	0		
(115)	(78)	(25)	(0)								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
79	58	3	0	140	0	79	58	3	0	140	0
[ 7 ]	[ Δ4 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	[ 6 ]	[ 0 ]	[ 7 ]	[ Δ4 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	[ 6 ]	[ 0 ]
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数						うち教授数					
115	78	25	0			115	78	25	0		
[2]	[7]	[ 4 ]	[ 0 ]			[2]	[7]	[ 4 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{140}{134} = \boxed{104.47} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{140} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	安原 英明	R5.3	必修	博士特別研究	①	R5.4.1付け他大学へ採用のため就任辞退（5）						
2	准教授	門田 章宏	R5.1	必修	博士特別研究	①	R5.1.1付け早期退職のため就任辞退（5）						
合計（D）			後任補充状況の集計（E）										
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
該当なし													
合計（F）			後任補充状況の集計（G）										
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2 人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	2 科目	計	2 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{134} = \boxed{1.49} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
該当なし								
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 安原英明教授のやむを得ない退職(令和5年3月)にあたり、担当授業科目について、代替の専任教員が担当することとしている。なお、学生へは代替の教員より周知している。  
 ・ 門田章宏准教授のやむを得ない退職(令和5年1月)にあたり、担当授業科目について、代替の専任教員が担当することとしている。なお、学生へは代替の教員より周知している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
<b>該当なし</b>			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。  
**【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】**  
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。  
**【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】**  
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）（５）」と記載してください。  
**【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**  
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。



## 7 その他全般的事項

<大学院理工学研究科理工学専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div data-bbox="312 477 995 667" style="border: 1px solid black; padding: 20px; width: fit-content; margin: auto;"> <h1 style="margin: 0;">該当なし</h1> </div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)教育コーディネーター会議</li> <li>2. 愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)学生支援委員会</li> <li>3. 愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)研究コーディネーター会議</li> <li>4. 愛媛大学大学院理工学研究科(工学系)教育コーディネーター会議</li> <li>5. 愛媛大学大学院理工学研究科(工学系)学生支援委員会</li> <li>6. 愛媛大学大学院理工学研究科(工学系)研究コーディネーター会議</li> </ol> <p>1. 愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)教育コーディネーター会議規程（平成16年4月1日制定） (設置)</p> <p>第1条 愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)に、愛媛大学理学部及び理工学研究科博士前期課程理工学専攻自然科学基盤プログラム、同専攻数理情報プログラムの学生、同研究科博士後期課程所属の学生のうち前2プログラムに対応する専門分野の教育に関する事項を企画、審議及び実施するため、愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)教育コーディネーター会議(以下「教育コーディネーター会議」という。)を置く。</p> <p>(職務)</p> <p>第2条 教育コーディネーター会議は、次の各号に掲げる事項について企画、審議及び実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)カリキュラムに関すること。</li> <li>(2)授業の実施状況の調査及び分析に関すること。</li> <li>(3)教員の教授能力の向上及び教員組織の教育機能の向上のための取組に関すること。</li> <li>(4)教育プロジェクト、Eラーニング推進、教育ガイダンス及び新入生セミナーに関すること。</li> <li>(5)FD・教育活動のデータ収集及び分析に関すること。</li> <li>(6)その他教育に関すること。</li> </ol> <p>(組織)</p> <p>第3条 教育コーディネーター会議は、次の各号に掲げる者をもって組織する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)教育コーディネーター（理工学研究科統括教育コーディネーターを除く。）</li> <li>(2)共通教育センター会議委員 1人(議長)</li> </ol> <p>第4条 教育コーディネーター会議に議長を置き、理学部統括教育コーディネーターをもって充てる。</p> <p>2 議長は、教育コーディネーター会議を招集する。</p> <p>(議事)</p> <p>第5条 教育コーディネーター会議は、構成員の3分の2以上が出席しなければ議事を開くことができない。</p> <p>2 議事は、出席した構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。</p> <p>(構成員以外の者の出席)</p> <p>第6条 議長が必要と認めるときは、構成員以外の者を出席させ、説明又は意見を聴くことができる。</p> <p>(ワーキンググループ)</p> <p>第7条 教育コーディネーター会議に、必要に応じてワーキンググループを置くことができる。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(事務)

第8条 教育コーディネーター会議の事務は、理学部事務課において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、教育コーディネーター会議の運営に関し必要な事項は、教育コーディネーター会議が定める。

附則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附則

1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。

2 愛媛大学大学院理工学研究科（理学系）FD委員会規程（平成16年4月1日制定）は、廃止する。

3 愛媛大学大学院理工学研究科（理学系）Eラーニング推進委員会規程（平成21年5月21日制定）は、廃止する。

附則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

2. 愛媛大学大学院理工学研究科（理学系）学生支援委員会規程（平成16年4月1日制定）

(設置)

第1条 第1条愛媛大学大学院理工学研究科（理学系）に、愛媛大学理学部及び理工学研究科

博士前期課程理工学専攻自然科学基盤プログラム、同専攻数理情報プログラムの学生、同研究科博士後期課程所属の学生のうち前2プログラムに対応する専門分野の学生が勉学意欲を高め健康な生活を送るために必要な事項を企画、審議及び実施するため、愛媛大学大学院理工学研究科（理学系）学生支援委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(職務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について企画、審議及び実施する。

(1) 健康管理、カウンセリング、課外活動その他福利厚生に関すること。

(2) 奨学金、授業料免除その他生活支援に関すること。

(3) 履修指導、進路相談その他学習支援に関すること。

(4) 学生の賞罰に関すること。

(5) 教育懇談会、学生モニター会議及び学生支援講演会に関すること。

(6) 学生支援活動のデータ収集及び分析に関すること。

(7) その他学生支援に関すること。

2 前項各号に係る事案のうち、理工学研究科（工学系）の教員を主指導教員とする学生に係るものについては、原則として、理工学研究科（工学系）の委員会で取り扱うものとする。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

(1) 理工学研究科理学系長（以下「理学系長」という。）が指名する理学系長補佐室会議の構成員 1人

(2) 統括教育コーディネーターが指名する教育コーディネーター 1人

(3) 理学系長が指名する教員 若干人

2 前項第2号の委員は、第1号の委員が兼ねることができるものとし、この場合にあっては委員の補充は行わないものとする。

3 第1項第3号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、当該委員の任期の末日は、当該委員を指名した理学系長の任期の末日とする。

第4条 委員会に委員長を置き、委員のうちから理学系長が指名する。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

(議事)

第5条 委員会は、委員（次条に規定する代理者を含む。以下この条において同じ。）の3分の2以上が出席しなければ議事を開くことができない。

2 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(代理者)

第6条 第3条第1項第3号の委員がやむを得ない事由により出席できないときは、代理者を委員として出席させることができる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(ワーキンググループ)

第8条 委員会に、必要に応じてワーキンググループを置くことができる。

(事務)

第9条 委員会の事務は、理学部事務課において処理する。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

令和5年3月31日に研究科に在籍する者に係る取り扱いについては、なお従前の例による。

### 3. 愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)研究コーディネーター会議内規 (平成27年4月1日制定)

(設置)

第1条 愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)に、愛媛大学先端研究・学術推進機構学術研究会議規程第8条第1項の規定に基づき、愛媛大学理学部及び愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)の学術研究推進に関する事項を企画、審議及び実施するため、愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)研究コーディネーター会議(以下「研究コーディネーター会議」という。)を置く。

(職務)

第2条 研究コーディネーター会議は、次の各号に掲げる事項について企画、審議及び実施する。

- (1) 研究プロジェクト及び科学研究費その他外部資金の獲得に関すること。
- (2) 理学部卒業研究発表会の実施に関すること。
- (3) 愛媛大学理学部紀要の編集及び出版に関すること。
- (4) 研究業績データの収集及び分析に関すること。
- (5) その他学術研究に関すること。

(組織)

第3条 研究コーディネーター会議は、研究コーディネーターをもって組織する。

(議長)

第4条 研究コーディネーター会議に議長を置き、統括研究コーディネーターをもって充てる。

2 議長は、研究コーディネーター会議を招集する。

(議事)

第5条 研究コーディネーター会議は、構成員の3分の2以上が出席しなければ議事を開くことができない。

2 議事は、出席した構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(構成員以外の者の出席)

第6条 議長が必要と認めるときは、構成員以外の者を出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(ワーキンググループ)

第7条 研究コーディネーター会議に、必要に応じてワーキンググループを置くことができる。

(事務)

第8条 研究コーディネーター会議の事務は、理学部事務課において処理する。

(雑則)

第9条 この内規に定めるもののほか、研究コーディネーター会議の運営に関し必要な事項は、研究コーディネーター会議が定める。

附 則

1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。

2 愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)学術研究委員会要項(平成18年10月26日制定)は、廃止する。

3 愛媛大学理工学研究科(理学系)紀要編集委員会内規(平成16年4月1日制定)は、廃止する。

附 則

この内規は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

令和5年3月31日に研究科に在学する者に係る取り扱いについては、なお従前の例による。

4. 愛媛大学工学部・理工学研究科（工学系）教育コーディネーターに関する内規

平成21年4月1日  
制 定

（設置）

第1条 愛媛大学教育コーディネーター規程第1条の規定に基づき、愛媛大学工学部・理工学研究科（工学系）に、教育コーディネーターを置く。

（業務）

第2条 教育コーディネーターは、工学部・理工学研究科（工学系）における教育改善及び教育機能の向上に係る諸課題を調査研究し、及び中長期的な視点により次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 教育システムに係る企画・立案に関すること。
- (2) 修学・学生生活支援に必要な施策の企画・立案に関すること。
- (3) 大学教育の質の保証及び向上のための施策の企画・立案に関すること。
- (4) その他教育改善及び教育機能の向上のための施策の企画・立案に関すること。

（組織）

第3条 教育コーディネーター（理工学研究科統括教育コーディネーターを除く。）は、次の各号に掲げる者及び第2項に規定する者で、学長が任命したものとする。

- (1) 副学部長（教育担当）
  - (2) 各講座の教授及び准教授のうちから、当該講座長が工学系長に推薦した者 各1人
- 2 博士前期課程のアジア防災学特別プログラム及び地域エンジニア養成プログラムのうち当該特別プログラムが必要と認めるときは、教育コーディネーターを置くことができる。この場合において、当該特別プログラム長は、当該特別プログラムの教育を担当する教授及び准教授のうちから1人を工学系長に推薦するものとする。
- 3 教育コーディネーターの業務を統括するため、工学部統括教育コーディネーターを置き、副工学系長（教育担当）をもって充てる。
- 4 工学部統括教育コーディネーターが行う業務を補佐するため、工学部統括教育コーディネーター補佐を置き、教育コーディネーターのうちから工学部統括教育コーディネーターが指名する。

（任命及び任期）

第4条 教育コーディネーターの任命及び任期は、愛媛大学教育コーディネーター規程第5条第1号及び第6条の定めるところによる。

2 前項の規定にかかわらず、前条第1項第1号に規定する者の任期は、当該副工学系長の任期とする。

（教育コーディネーター会議）

第5条 第2条に規定する業務を行うため、教育コーディネーター会議（以下「会議」という。）を置き、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 第3条第1項及び第2項に規定する各教育コーディネーター（理工学研究科統括教育コーディネーターを除く。）
  - (2) その他議長が必要と認めた者
- 2 会議に議長を置き、工学部統括教育コーディネーターをもって充てる。
- 3 議長は、会議を招集し、主宰する。
- 4 議長に事故があるときは、工学部統括教育コーディネーター補佐が議長の職務を代行する。

（雑則）

第6条 この内規に定めるもののほか、教育コーディネーターに関し必要な事項は、工学系長が定める。

附 則

この内規は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、令和5年1月25日から施行し、令和5年4月1日から適用する。

5. 愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）の各種委員会に関する規程

平成18年4月1日  
制 定

第1条 この規程は、愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）（愛媛大学工学部を含む。以下「研究科（工学系）」という。）に、研究科（工学系）に係る特定の事項（愛媛大学の諸規則に基づくものを含む。）について審議及び実施するため、愛媛大学大学院理工学研究科工学系会議又は工学系運営委員会の下に委員会を置き、当該委員会に関し必要な事項を定める。

第2条 研究科（工学系）に置く委員会については、別表のとおりとする。

附 則

1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、愛媛大学工学部自己点検評価委員会内規（平成16年4月1日制定）、愛媛大学工学部教員個人評価実施委員会内規（平成16年6月17日制定）、愛媛大学工学部安全衛生委員会内規（平成16年5月20日制定）、愛媛大学工学部遺伝子組換え実験安全委員会内規（平成16年4月1日制定）、愛媛大学工学部教務学生委員会内規（平成16年4月1日制定）、愛媛大学工学部入試委員会内規（平成17年4月1日制定）、愛媛大学工学部広報委員会内規（平成16年4月1日制定）、愛媛大学工学部情報セキュリティ委員会内規（平成16年6月17日制定）、愛媛大学工学部就職指導委員会内規（平成16年4月1日制定）、愛媛大学工学部FD委員会内規（平成16年4月1日制定）、及び愛媛大学工学部入学者選抜試験合否判定方法調査検討委員会に関する申合せ（平成16年4月1日制定）は、廃止する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年2月17日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）中期計画・年度計画委員会規程（平成18年4月20日制定）、愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）大学認証評価委員会規程（平成18年5月18日制定）、愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）建物委員会規程（平成21年4月1日制定）及び愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）国際連携委員会規程（平成22年10月21日制定）は、廃止する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

別表(第2条関係)	委員会名	設置・目的	審議事項等	組織	委員任期	委員の再任	委員長・部長	議事要件等	委員以外の者の出席	常置の専門委員会	専門委員会	他の委員会等の関連	事務	審判	最近改正
愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）	学生支援委員会	愛媛大学工学部学生生活委員会規程第28条の規定に基づき、研究科（工学系）に置く。	1. 研究科（工学系）における学生生活に関する次の事項に關する事項を審議する。 (1) 学生の保健衛生及び福利厚生に関する事項 (2) 学生の課外活動及び自治活動に関する事項 (3) 学生の意欲に関する事項 (4) その他学生の指導に関する必要な事項 2. 前掲各号に係る事業のうち、原則として、理工学研究科（工学系）の教員学生指導職員とする学生に係るものについては、理工学研究科（工学系）の委員会でも取り扱ふものとする。	(1) 工学系長が指名する工学系長、工学部長補佐室構成員1人 (2) 各課程長	2年 1年 (再任可)	可	(1) 工学系長が指名する工学系長、工学部長補佐室構成員1人 (2) 各課程長	委員全員出席 委員欠席は、代理者	説明又は意見聴取は可		必要に於て専門委員会を置くことである。専門委員会に関する事項は、委員会が定める。		工学部事務課（教育支援課工学部チーム）	委員会が定める。	RS-41

6. 愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）研究コーディネーターに関する内規

平成21年5月28日  
制 定

（設置）

第1条 愛媛大学研究コーディネーター規程第1条の規定に基づき、教員の研究活動を支援し、愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）（以下「工学系」という。）の学術研究の推進及び研究成果を活用した産学官連携の推進に資することを目的として、工学系に、研究コーディネーターを置く。

（業務）

第2条 研究コーディネーターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 学術研究の高度化及び活性化に関すること。
- (2) 研究プロジェクトの推進に関すること。
- (3) 学内外研究者間の共同研究の可能性を探る方策に係る助言に関すること。
- (4) 外部資金への応募を進めるための方策に関すること。
- (5) 外部資金獲得を目指した研究内容の外部への情報提供に関すること。
- (6) 研究成果を活用した産学官連携の推進に関すること。
- (7) その他研究機能の向上に関すること。

（組織）

第3条 研究コーディネーターは、次の各号に掲げる者で、学長が任命したものとする。

- (1) 副工学系長（研究担当）
  - (2) 各コースの教授及び准教授のうちから、当該コース長が工学系長に推薦した者 各1人
- 2 研究コーディネーターの業務を統括するため、統括研究コーディネーターを置き、副工学系長（研究担当）をもって充てる。  
（任命及び任期）

第4条 研究コーディネーターの任命及び任期は、愛媛大学研究コーディネーター規程第5条第1号及び第7条の定めるところによる。

2 前項の規定にかかわらず、前条第1項第1号に規定する者の任期は、当該副工学系長の任期とする。

（研究コーディネーター会議）

第5条 第2条に規定する業務について協議及び連絡調整し、並びに学術研究推進（科学研究費をはじめとする外部資金獲得の拡大を含む。）及び産学官連携推進のための諸方策について審議し、実施するため、研究コーディネーター会議を置き、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 第3条第1項に規定する各研究コーディネーター
  - (2) その他議長が必要と認めたる者
- 2 会議に議長を置き、統括研究コーディネーターをもって充てる。  
3 議長は、会議を招集し、主宰する。

（雑則）

第6条 この内規に定めるもののほか、研究コーディネーターに関し必要な事項は、工学系長が定める。

附 則

この内規は、平成21年5月28日から施行し、平成21年4月1日から適用する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

1. 愛媛大学大学院理工学研究科（理学系）教育コーディネーター会議  
（令和4年度10回開催、参加状況：各回とも全員参加／構成員6名）
2. 愛媛大学大学院理工学研究科（理学系）学生支援委員会  
（令和4年度3回開催、参加状況：各回とも全員参加／構成員5名）
3. 愛媛大学大学院理工学研究科（理学系）研究コーディネーター会議  
（令和4年度5回開催、参加状況：各回とも全員参加／構成員6名）
4. 愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）教育コーディネーター会議  
（令和4年度6回開催、構成員8名）
5. 愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）学生支援委員会  
（令和4年度2回開催、構成員7名）
6. 愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）研究コーディネーター会議  
（令和4年度2回開催、構成員7名）

c 委員会の審議事項等

1. 学部などのFD（Faculty Development）に関する事項
2. 学生の厚生、指導、身分に関する事項
3. 科学研究費を中心として外部資金獲得に関する事項
4. 教育課程に関する事項
5. 学生の厚生、課外活動、指導に関する事項
6. 学術研究の高度化及び活性化に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

1. 理学部FD講演会
2. 学生の厚生、指導、身分に関する事項
3. 科研費の出願状況の把握と奨励

4. 工学部FD講演会
5. 学生の厚生、課外活動、指導に関する事項
6. 科学研究費をはじめとする外部資金獲得の推進及び産学官連携推進スペースの有効活用に関する事項

b 実施方法

各委員会が中心となり、関係部署と連携し実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. 理学部FD講演会「令和5年度からの大学院授業について」  
理工学研究科のカリキュラムが変更され、新たな共通科目等が導入されるため、今年度のFD研修会として、大学院新カリキュラムの説明会を実施した。
2. 学生モニター会議  
1学科（コース）・1学年あたり3～4名の学生モニターをまず学科（コース）ごとに集め、履修や環境など大学生活に関する意見や要望を収集。その後、学部全体で集まって、教員サイドからの回答を伝える。教員としては、学部長・教育コーディネーター・学生支援委員らが出席。
3. 科研費の出願状況の把握と奨励  
各コースの研究コーディネーターが科研費の申請状況・内容を確認し、ブラッシュアップを実施して申請を奨励した。
4. 工学部FD講演会「学修ポートフォリオシステムを活用した学生指導法について」  
令和4年度後学期から学修ポートフォリオシステムの試行運用がスタートすることに伴い、具体的な運用方法について審議した。
5. 学生の保健衛生及び福利厚生に関する事項  
コロナ禍における学生指導や令和4年度愛媛大学工学部学生研究プロジェクトの継続申請など学生支援について審議した。
6. 科学研究費をはじめとする外部資金獲得の拡大に関する事項  
各コースの研究コーディネーターが科学研究費の申請状況・内容を確認し、ブラッシュアップを実施して申請を奨励した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD講演会やモニター会議、授業評価アンケート等の内容を踏まえ、各教員が授業改善に取り組んでいる。  
理学系においては、モニター会議等の要望を踏まえ、コモンルーム什器を追加し、充実させた。また、総合研究棟Iのベランダの鳩のフン害対策について要望を受け、鳩よけネットを設置し、教育・研究環境の改善を行うなど、就学環境の改善を行った。コロナ感染対策等に関して、食事ができる場所の一覧が欲しい旨要望があり、定期的に通知することとした。また、Formsで提出する健康観察を提出した際のフィードバックが欲しい旨要望があり、回答した際、確認メールを受領できるようにした。工学系においては、授業評価アンケート等の要望を踏まえ、就学環境の改善を行った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

専攻共通科目等で授業評価アンケートの実施を検討する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートを集計した後、授業担当者にフィードバックすることを検討する。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を実施するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

・令和5年7月頃 公表予定

###### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

##### ③ 認証評価を受ける計画

・令和3年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けたため、令和10年度までに受審を予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。



(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他（ ） ]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。